



宗祖親鸞聖人
御誕生八百五十年・
立教開宗八百年
慶讃法要

法要期間
第1期法要 3月25日(土)～4月8日(土)
第2期法要 4月15日(土)～4月29日(土)
讃仰期間 4月9日(日)～4月14日(金)

同朋新聞

Dōbō Shimbun

3

Vol. 784 March 2023

Shinran
500th

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

今月の写真

今月25日から宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が始まります(6～8面参照)。50年に一度のご法要。宗祖親鸞聖人のお念仏の教えをあきらかにしてくださったことに深く感謝し、宗祖の仏法聴聞のお姿をとおして、お念仏の中で人と生まれたことの意味をたずねてまいりましょう。

CONTENTS

2・3面

人間といういのちの相

子どもの安心感を育む
一児童相談所と里親制度を通して—
藤林 武史さん



6・7面

特集

いよいよ慶讃法要を
お迎えします



10面

宗教とは 信仰とは
—カルト問題を通して考えよう—
第1回 (全3回)



4面

現在を生きる
御同朋・御同行からの問いかけ
～是施陀羅の課題～ 第16回

5面

親鸞聖人にであう
第8回

8面

慶讃NEWS

9面

今月の法話 第30回



慶讃特設サイト

検索

発行所 真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)
購読料 無料
送料 1部1万円1,300円(部数により変動)
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

通信員リレーレポート Vol.234

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。

「門徒会の方は、お寺や聞法の間と同じで年齢を超えて、さまざまな方と交流できる楽しい場所です」と、個人で学びを深めるだけでなく、真宗の教えを受け取った人々との出会いを、とても大切にされている。

また、石井さんは朝夕の勤行を欠かしたことがないそうだ。「お内仏に手を合わせ、先祖や家族のことを想い、普段の何気ないことや、日々思うことを吐き出すと、心が落ち着くような気がします」。また、「法語カレンダー」に、『まあ、どこにおつてもお慈悲の中だからのう』という言葉があり、とても感銘を受けました。毎日、不安に思うことがあっても、阿彌陀仏に見守られていることにあらためて気づかされ、日々生きていることに感謝できるようになりました」とも話される。

お内仏を通してご家族を想い、また、自分自身も想われる存在であったことに気づく。そしてお互いを願う場が、浄土や慈悲というかたちで私たちに説かれている。この慈悲のなかに生きているという実感が、私たちを生かしているのではないかと石井さんの活動やお話には、そのような今を生きる教えがはたらいっていると感じた。

※法語カレンダー
2021年8月
山本仏骨

現在を生きる



東北教区秋田県中央組 如來寺門徒 石井 三和子さん (73歳)

東北教区通信員 藤本 祐



石井 三和子さん

お慈悲のなかに生きる私

東北教区秋田県中央組 如來寺門徒 石井 三和子さん (73歳)

石井さんが初めてお寺を訪れたのは、祖母に連れられて行ったお講の場。それ以降、お寺のそばに教室に通い、身近な場として、如來寺さんによく足を運んだ。そして今も、自分の拠り所として通う大切な場所となっている。

今、問われていること(8) 教えを受け継ぎ、伝えていく

部落解放運動の原点といえる全国水平社の創立時に生まれた全国水平社創立宣言。部落解放同盟において、各種集会や大会の場で、自分たちが拠り所としているこの宣言を朗読されています。しかし、宣言文の表現について、起草当時の社会の影響を免れなかった文言に関する課題があがっています。そうした中で、「是旃陀羅」問題の提起をとおして部落解放同盟広島県連合会では、宣言文中の、自らを指し示した「男らしき」という男性中心の表現を「人間らしき」とするなどの読み替えをされています。その趣旨には、「私たちは宣言がもつ歴史的な意味と高い精神的基調を受け継ぎ、その後発展を遂げてきた人権水準に沿った内容とすることが運動を継承・発展させる者の使命と考える」と述べられています。

私たちは、宗門が「是旃陀羅」の語でもって部落差別を温存・助長し、差別することを宗教的に正当化してきた歴史、そして、被差別者の方々からの度重なる問いかけによってその差別性に気づかされたことをこの連載で学びました。真宗門徒として教えを受け継ぎ、今を生きる私たちは、次の時代に伝えていくために、自分たちが大事にしている經典の本意について学びを深める。そして、時代に沿った表現でそのすばらしさを伝えていくことが使命と言えるのではないのでしょうか。

広島県連合会の方は言われます。「私たちが「男らしき」を「人間らしき」と受けとめて変えたことについて、宣言起草者の中心人物であった西光万吉さんが怒っているのか、それとも自分があの時代には気づかなかったことを、後の者がよく変えてくれたと喜んでいるのか。私たちは、後者の方であると信じています」と。今を生きる私たちが、問題の責任を經典に向けるのではなく、「是旃陀羅」の課題を一人ひとりが主体的に受けとめ、問いかけに応答していくことが願われているのです。

御同朋 御同行 からの問いかけ ~是旃陀羅の課題~ 第16回

宗門が問われている『仏説觀無量壽經』における「是旃陀羅」の語について、様々な視点からこの問題を考えていかなければなりません。このコーナーでは、これまでの歴史を振り返りながら、宗門に属するすべての人々が課題を共有できるよう情報を発信していきます。

永田文昌堂 最新刊

「僧侶向け解説」 歎異抄受託の覚如 聖教化解放の蓮如 尾野義宗著 定価2,750円(税込)

響生のこころ 川添泰信著 定価2,200円(税込)

念仏申さるべし 藤枝宏壽著 定価2,750円(税込)

有縁の門信徒に送られる「揭示法語」「エッセイ風の法話(心のしおり)」、や専門的な法話「群萌」「口述の法話」講演をほぼそのまま記録した「法話」の四部構成で七十九篇を収録し、「念仏申さるべし」の願いをわかりやすく伝える。

〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

東本願寺 門徒勤行 CD 2,970円(税込 / CDサイズ経本付) カセットテープ 2,530円(税込 / お経カード付)

誦誦：東本願寺御堂衆 【収録】正信偈草四句目下 / 仏説阿彌陀經ほか

花まつりなど子供行事にお奨め。 みほとけさまのこどもたち CD 2,750円(税込)

法の御山、四弘誓願、散華舞曲 献燈、花まつり行進曲、朝の歌 花まつりの歌、讃歌・清らかに飾れ 子ども盆おどり歌、幼年こども盆おどり 仏の子ども、おてらのぼっば、お坊さまさよならのうた、三帰依文、成道の歌 讃仏歌・花と少女、讃仏歌ごんごん 子ども花まつり、しっている・ののさまに

禅者の言葉 鈴木大拙 ★解説書(52頁)付 CD6枚組 16,500円(税込・送料サービス)

大谷大学で40年間、教鞭をとられた鈴木大拙先生の講演集。全311分。東洋の母なる思想、禅の考え方、念仏とは何か、キリスト教と仏教、妙好人、対談 浄土信仰を巡って(with 金子大栄)

京都市下京区七条通大宮西入 市原栄光堂 TEL 075(371)6843 FAX 075(371)8685



「翻」
—絶望から希望へ—

親鸞聖人は29歳の時、法然上人という、自分の愚かさを告白しながら、ただ念仏して生きる師にであうことができませんでした。また、生きることに苦しみながらも、教えを聞き、念仏して生きる多くの人びとにもであうことができませんでした。人間として本当に生きる道を喜んで歩む人の姿を通して、「ただ念仏しなさい」という教えこそ真実の教えであると見いだされたのではないのでしょうか。

親鸞聖人はそのことを『教行信証』の中で、次のように述べておられます。

建仁辛酉の暦、雑行を棄てて本願に帰す。

(『真宗聖典』三九九頁)

建仁元年29歳の時、私はそれまでの救いを求めたさまざまな努力をすべて放棄して、本願に生かされている自分にはつきり目覚めることができ、そこに立つことが整いました。(意訳)

それは、人として生まれたことを喜び、たゞ苦勞も思いどおりにならないことも多かるうと、その苦惱の中にさえも豊かな意味を見いだしながら生きることでできる、大らかに広やかな世界の発見でした。煩悩を断つてさとりを開こうとする歩みが翻されたのです。自身の知恵や能力を含む、持てるものを頼りに歩む生き方から離れ、人知の及ばない大きくて確かな世界に触れ、そこに立つて歩みを続けていくという転換です。その翻りが「回心」と呼ばれることなのでしょう。

親鸞聖人に であう

浄土真宗をあきらかにされた親鸞聖人。
大谷中・高等学校「京都」で
生徒とともに学ばれている乾さんと、
中高生の素直(リアル)な問いを手がかりに、
「人と生まれたことの意味」を
親鸞聖人のご生涯に学んでいきます。



「結局親鸞さんは、比叡山の教ね？」ある生徒から鋭い問いが飛んできました。

「親鸞さんは、比叡山での学びは正しいけど間違っていたと気づかれたんやろうな」と答えたところ、
「何それ？」と返ってきました。
「そうよな、わかりにくいよな。だって私自身が本当にわかってるという自信がないからな。申し訳ない。だから、私の受けとめとして聞いてな」
「比叡山に伝わる教えはお釈迦さんが説かれたお経に依っているからこれは正しいのよ。親鸞さんはその教えを否定されたわけではなくて、その教えに見合う自分ではないということに気づかれたんだと違うかな。だから否定ということではなく、自分が否定されたんやろうな」
「でもな、お釈迦さんの教えは、対機說法」と言つて、聞く人の「人となり」というか、資質や能力や、他にも悩みの種などに合わせて教えが説かれているのよ。お医者さんが患者さんの症状に合わせて薬を与えるのと一緒。それは、応病与薬」と言うねん。すごく効く薬やいうても、頭の痛い人に胃薬飲ませて治らんではしょ。あ、あ、自信がなくなったり困ったりすると、すぐに難しい言葉や四字熟語出して説明しようとするよな。今の私やけど…。まあ、続けるな」
「修行を続けるにつれて、これは私のために用意された道ではないのではないかと疑問を持ちはじめたんやろうな。そして、法然さんにあつて気づかされた。私は私が歩むべき道ではない道を歩んでいたことを。だから正しいけど間違っていた

ということやねんけど」
「仏教では教えに説かれる通りに修行し生活できる人を善人というねん。またはそれができると思っている人のことを。でな、親鸞さんが自分の努力でもって救われていくとする道を歩まれていたということ、は、言い換えると善人になる道を歩んでいたと言えらんと違うかな。でも、善人にはとつてい成り切れない自分に気づかされた時、深い絶望を味わったと思うのよ」
「ところが法然さんに「善人ではなく悪人が救われていく道がある。それが本願念仏の道や」と教えられて、その絶望が希望に変わった。道が前に開かれた。そういう決定的な出来事があつたんちゃうかな」
「ということは、親鸞さんは悪人なんですね(笑)」
「そつやで。親鸞さんは悪人やで」「ええええっ!」

「親鸞さんがであれた悪人であるところに立つて救われていく道」についてはまた次回。ほな」
「善人に成ろうとする歩みは時に尊いが、善人で在ろうとする姿は時に醜い」
自分の努力の欠如が原因で、善人に成り切れないと悩んでいた29歳の親鸞聖人。ともすると、善人のふりをして生きることを余儀なくされていたかもしれない。そんな親鸞さんに「あんたはあんたでええやないですか。悪人こそを救いの対象として願いをかけられた阿弥陀」といほとけさんがおられるのですから」とお伝えになった法然さん。

「私は悪人である」というところに、私たちはいったいどうやって立つてるのでしょうか。

さいよいよ慶讃法要をお迎えします

第1期法要 3月25日(土)～4月8日(土)
第2期法要 4月15日(土)～29日(土)
讃仰期間 4月9日(日)～14日(金)

今月25日から宗祖親鸞聖人の御誕生と立教開宗を慶ぶ法要をお迎えします。今号では、期間中に予定されているさまざまな催事などをご紹介します。

両堂ともに椅子席です。当日お越しの場合の自由席もご用意しております。どなたでもご参拝いただけますので、ぜひ法要にお参りください。

最新情報ははこちら⇒



オープニングイベント

慶讃法要の始まりと同時に、東本願寺前に「市民緑地」がオープンします。法要前日の3月24日には「慶讃法要・市民緑地オープニングイベント」があります。

3月24日(金)

15:30～

「東本願寺前市民緑地」完成式典(主催:京都市)市民緑地の愛称の発表や、高倉幼稚園園児による合唱があります。

第1部(16:00～)

「音楽で世代をつなぐ・地域をつなぐ」式典での幼稚園児たちの合唱にはじまり、小、中、高生による吹奏楽の演奏へ。次世代を担う子どもたちが演奏を受け渡し、音楽のバトンで地域を繋ぎオープニングを彩ります。

出演 京都市立下京浜成小学校吹奏楽部
京都産業大学付属中学校・高等学校吹奏楽部
大谷中学校・高等学校吹奏楽部



※雨天時は内容が変更になる場合があります。

同朋会館

9:00～17:00

讃仰パネル展
「親鸞聖人と家族の歩み」
カフェ

子どものひろば

法要期間

平日: 14:00～16:30
土日: 10:30～16:30

讃仰期間

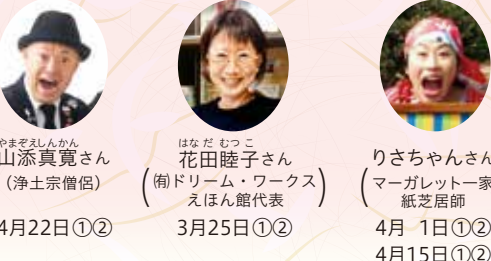
4月9日のみ開催

東本願寺キャラクターの大型バルーン
東本願寺キャラクター(鸞恩くん、あかほんくん、蓮ちゃん)をモチーフにした大型バルーンを設置します。



毎週土曜日には紙芝居や絵本読み聞かせを楽しもう♪

時間 ①11:30～ ②15:00～
出演



伝統技術のワークショップ

井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー

第1期法要 3/26(日)・4/2(日) 第2期法要 4/16(日)・23(日)・24(月)

- ◆ガイドツアー(※4/24は①のみ)
所要時間45分 第1期法要 ①11:30～ ②15:30～
第2期法要 ①13:00～ ②15:45～
- ◆御影堂門の彫刻ガイド
所要時間10分 第1期法要 13:00頃 随時
第2期法要 9:30頃 随時

御影堂、阿弥陀堂、御影堂門などの建物に施されている明治期の彫刻。東本願寺と井波彫刻とのつながりとは? 現代の井波彫刻が解説します。開催日には、井波別院「テラまち雑貨店in東本願寺」がオープン(9:00～17:00)。御影堂門下で井波オリジナルグッズの予約・販売を行います。

【参加費無料・事前予約不要】

両堂が一体となって勤まる法要

このたびの慶讃法要は、阿弥陀堂と御影堂が一体となって勤まる初めての法要です。

2つのお堂の意味を確かめながら、両堂で一体となったの勤行があり、その後それぞれのお堂で法話・感話が行われます。

きみょうむりょうじゅにょらい 歸命無量壽如來

なむふかしぎこう
南無不可思議光
Namufukashigiko

第2部(17:00頃～)

飲み物や軽食を手に、催しや音楽とともに新たにオープンした東本願寺前市民緑地をお楽しみください。

- 門前ブチマルシェ(軽飲食)
- ダブルタッチパフォーマンス
- 京都市立芸術大学生・OBによる弦楽四重奏・管弦楽演奏



NEWTRAD



「南無不可思議光」(弘願本、東本願寺所蔵)

お気軽にお越しください!

憩いのひろば

10:00～17:00

法要期間

毎日開催

讃仰期間

4月9日のみ。4月10日～14日は、休憩所としてご利用いただけます。

対話のワークショップ

事前予約優先

言葉でふれあうトーク・フォークダンス

所要時間40分・定員56人

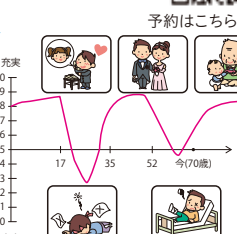
司会からの問いに対する考えを向かい合う相手と話し、1分ずつ語り、相手も問いも変わります。多様な思いの交換が豊かな気づきを与えてくれます。



グラフで語る出会いと気づきの人生物語

所要時間50分・定員32人

私の人生ってどんな時間だったろう...どんな人に出会ってきたらう。あらためてグラフ化して振り返り、人の数だけ物語があることにふれてみましょう。



門前エリア

京の名産品展
門前マルシェ

キッチンカー

3月25日(土)～4月9日(日)
4月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)
4月10日(月)～14日(金)・17日(月)～21日(金)・24日(月)～28日(金)
※4月12日のキッチンカーはお休みです。

渉成園でのイベント

日中はワークショップや展示、夜間にはライトアップもあります(一部開催なしの日あり)。普段とは違った雰囲気の渉成園をお楽しみください。



慶讃テーマ館(高廊下・参拝接待所ギャラリー・視聴覚ホール)

親鸞聖人のご生涯や教えにふれるパネル展、現代作家が描く親鸞聖人をテーマにした作品の展示、慶讃寄席などがあります。

「宗祖親鸞聖人」展



特別展示

ていとう しょうれんいんもん せき 剃刀(青蓮院門跡所蔵)
本願寺第三代覚如上人が著した『御伝鈔』にあるように、親鸞聖人は9歳の頃に慈円(慈鎮和尚)のもと、得度されました。今回その得度時に使用されたと、天台宗青蓮院に伝えられる剃刀を、青蓮院から特別にお借りし、展示します。

『教行信証』展

親鸞聖人の自筆本である『教行信証』(坂東本)の筆跡などから、聖人の思索にたずねていく展示や映像を放映します。

公開講演会開催!

日時 4月13日(木)14:00～17:30
会場 しんらん交流館2階 大谷ホール
講題 聞思の人・宗祖親鸞聖人
講師 三木彰氏(聖教編纂室特別編集研究員・大谷大学教授)
参加費 無料 ※事前申込不要

慶讃寄席 要事前申込

視聴覚ホールにて、桂小春園治氏による新作の真宗落語の公演があります。
※各日2回公演・公演時間:約30分 観覧無料
第1期法要期間《3月25日(土)～4月8日(土)》
〈第1部〉9:30～ 〈第2部〉11:00～ ※3月27日のみ
〈第1部〉13:30～ 〈第2部〉15:00～
第2期法要期間《4月15日(土)～4月29日(土)》
〈第1部〉13:30～ 〈第2部〉15:00～ ※4月28日・29日のみ
〈第1部〉9:30～ 〈第2部〉11:00～

桂小春園治 真宗落語

演目「親鸞で行こう」
お葬式をキッカケに何にも知らなかった男が、浄土真宗のこと、親鸞聖人のことを教えてもらって、ビックリと感動...。私たちだって実は知ってるようでほんとは知らない「親鸞聖人の生涯」を落語を通して、楽しく学んでみたいと思います。

申込・お問い合わせ
教区団体参拝受入センター FAX 075-371-9204
メールアドレス dantaisanpai@higashihonganji.or.jp

子どものつどいの東本願寺

～であう つながる ともにある～

当日参加もできます

日時 2023年5月5日(金・祝) 10:00～16:00

★YouTubeライブ配信

日時 2023年5月5日(金)
①午前の部 10:00～11:00
②午後の部 12:30～16:00
配信 東本願寺公式YouTubeチャンネル
特記事項 申し込みの必要はありません。

お問い合わせ 青少年センター TEL 075-354-3440 メール oyc@higashihonganji.or.jp

日程
10:00 オープニング[御影堂]
10:30 東本願寺を知ろう! [御影堂・諸殿]
(採検・体験イベント) 遊ばースTART!!(15:15まで)
13:00 おつとめ・帰敬式[御影堂]
14:00 東本願寺を知ろう! [御影堂・諸殿]
15:30 エンディング[御影堂]



慶讃NEWS

『教行信証』〈坂東本〉を紹介する映像番組を公開 —親鸞聖人のお意にふれ、慶讃法要へご参拝を—



2月20日より、東本願寺公式YouTubeチャンネルにて、宗祖の自筆本であり、国宝にも指定されている『教行信証』〈坂東本〉を紹介する映像番組「立教開宗の書『教行信証』〈坂東本〉の世界」の配信を開始しました。

本番組は、慶讃法要をお迎えするにあたり、『教行信証』〈坂東本〉をとおして、宗祖のお意と聞思の姿勢にふれ、慶讃テーマにも掲げられるお念仏の教えとは私にとって何かをたずねる機縁となることを願い制作しました。約37分の番組では、宗祖の生涯をはじめ、『教行信証』〈坂東本〉の特徴や「正信偈」についてさまざまな写真や動画を用いて紹介しているほか、坂東本研究の第一人者であり、

2003年の坂東本修復事業にも関わられた三木彰円氏(大谷大学教授・聖教編纂室特別編纂研究員)のインタビューも収録。坂東本の特徴や、そこから伺える宗祖のお意・姿勢のほか、修復事業をとおして間近に坂東本を見て感じられた経験や受けとめを語っていただきました。本番組は公式YouTubeチャンネルのほか、慶讃法要期間中に参拝接待所ギャラリーを中心に開かれる慶讃テーマ館においても上映します。

また、慶讃テーマ館での『教行信証』展では、拡大印刷した坂東本の「正信偈」パネル(140cm×90cm)5枚を展示します。ご参拝の際に、迫力ある聖人の筆致をぜひご覧ください。

番組はこちらから



インタビュー場面

『教行信証』〈坂東本〉についての公開講演会を開催します！

- 日時** 4月13日(木)14時～17時30分 ※途中休憩あり
- 会場** しんらん交流館2階 大谷ホール
- 講師** 三木彰円氏(大谷大学教授・聖教編纂室特別編纂研究員)
- 講題** 聞思の人・宗祖親鸞聖人—『坂東本 教行信証』を通して—
※参加費無料・事前申し込み不要・自由席
※東本願寺公式YouTubeチャンネルにてライブ配信を予定しています。

「親鸞聖人生誕850年特別展」では『教行信証』〈坂東本〉をはじめ、西本願寺本、高田本が初めて集結します！

法要にご参拝の際にぜひご覧ください。

詳細はこちら



期間 3月25日(土)～5月21日(日) ※月曜日休館

会場 京都国立博物館(京都市東山区茶屋町527)

ご参拝の皆さまをお迎えする 態勢を整えています



スロープ設営の様子



障子枠に丁寧にのり付けをする様子
※すべての障子の貼り替えは約7年ぶり



明るく使いやすい装いとなった境内トイレ

慶讃法要に向けて、境内各所ではご参拝の皆さまをお迎えする整備を行っています。

現在、御影堂・阿弥陀堂正面階段には、参拝者の皆さまが安全・快適に堂内へ出入りできるよう、スロープやゆるやかな階段の設営が進められています。

1月上旬には、御影堂、阿弥陀堂の障子扉の障子紙の貼り替えが行われ、真っ白の紙が貼られた障子扉に生まれ変わりました。

また、昨年11月から行われていた境内白洲北側トイレの改修工事が1月20日に完了し、外観内観の塗装や手洗い場の鏡、個室扉、便器が新調されました。現在は南側トイレの改修や御影堂北側の高廊下に新設されるトイレ工事が進められています。

今月25日(土)から始まる慶讃法要では、万全の態勢を整えて、参拝者の皆さまをお迎えします。

井波彫刻協同組合が 昨年に引き続き「木彫案内看板」を寄進 —慶讃法要期間中「井波彫刻師による 東本願寺の彫刻ガイドツアー」も実施します—



御影堂に設置された木彫看板(右)

昨年12月23日、井波彫刻協同組合(富山県南砺市井波)より、あらたに御影堂に設置する「木彫案内看板」2台の寄進があり、堂内へ設置されました。

慶讃事業「井波別院瑞泉寺活性化プロジェクト」を通して、井波の彫刻師の方々と宗派とのつながりが生まれ、昨年5月に両堂向拝に設置する木彫案内看板4台の寄進がありました。今回はそれに引き続き、「堂内撮影禁止」を呼びかける看板の寄付となりました。井波彫刻の原点は、江戸時代の井波別院瑞泉寺再建の際、東本願寺の御用彫刻師・前川三四郎らが派遣され、井波の宮大工が弟子入りしたことに始まります。彫刻を手がけた組合員からは「井波彫刻が今日あるのは、東本願寺とのご縁があったから。ご恩返しにこれからも尽力したい」との力強い声が寄せられました。ご参拝の際はぜひ間近でご覧ください。

※慶讃法要期間中(3/26、4/2・16・23・24)に「井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー」【参加費無料・事前予約不要】があります。ぜひご参加ください。

詳細はこちら



6・7面もご覧ください

『東本願寺周辺お散歩マップ』を 発行しました！

このたび、東本願寺周辺地域の周遊をさらに楽しんでいただけるよう「東本願寺周辺お散歩マップ」を発行しました。

このマップは本山参拝・観光等でご来訪の方や東本願寺周辺にお住まいの方に、東本願寺をはじめ、周辺地域一帯のさらなる魅力をお伝えし、足を運んでいただくための一助となることを願い制作しました。

表面には東本願寺の紹介や周辺地域の地図を、裏面には飲食店・仏具や念珠店・宿泊施設など、ピックアップした24店舗をご紹介します。

お散歩マップは東本願寺境内、近隣店舗に設置していますので、ご上山の際は、ぜひお手に取って散策をお楽しみください。

詳しくはこちら



「慶讃法要参拝のしおり」ができました！



しおり表紙

このたび、「慶讃法要参拝のしおり」を発行し、教区団体参拝・一般参拝の申込代表者、全寺院・教会へ発送しました。法要の次第をはじめ、慶讃テーマ館や憩いのひろば・子どものひろばなどの境内での催事のほか、門前エリアや渉成園でのイベントなど、1日をゆっくりお過ごしいただくための情報が満載です。しおりを手にも、ぜひ慶讃法要にご参拝ください。

ダウンロードは
こちらから



南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

第30回

聴聞日和

名古屋教区第1組 道誠寺 市野 智行



今月の法話

大道を体解して、無上意を
発さん

法座や学習会の折に拝読する三
帰依文の一節です。普段、何気なく
読んでいますが、ふとした時にこち
らの意識が言葉につかまえられる、
ということはありませんか。私はこ
の「体解」という言葉に少し違和感
を抱きました。「解」は「わかる、と
く」と読みますが、私の日常で「わ
かる」ために使うのは「体」ではな
く、もっぱら「頭」です。三帰依文の
言葉を借りれば「頭解」の営みで
す。しかし三帰依文では「体解」と
記されています。体で解く、体で解
るとは、一体どのような意味なので
しょうか。

この「体解」について、二つの出来
事を通して気づかされたことがあ
ります。

一つは私が小学生の頃の話です。
私の生まれ育ったお寺では、月に一
度、定例の聞法会が開かれていま
す。「正信偈」のおつとめが終わり、
私は大好きなお同行のおばあちゃ
んの隣で法話の先生を待っていました。
た。そして、先生の開口一番の言葉
が「今日は雨ですね。聴聞日和です

「仏法は、聴聞にきわまることなり」(蓮如上人御一代記聞書)と教えられているように、
真宗門徒は昔から仏法聴聞を大切にしてきました。日々の生活の中で
仏さまの教えを聞いていただくことを願いに、毎月一話ずつ掲載します。

ね」でした。子どもながらに「雨の日
にお寺に来るのは良いことのように
だ」と思ったことを覚えています。
今のように娯楽がたくさんあるわ
けではありません。雨をしのげ、近
所の顔見知りが集まり、お斎があ
り、仏法も聴聞できる、お寺に行く
には確かに雨の日は最適なのかもし
れません。しかし、幼かった私がこの
言葉を鮮明に記憶しているのには別
の理由があるのです。それは翌年の
聞法会での出来事でした。月ごとに
先生が決まっていたため、一年経て
ば同じ先生に会えます。昨年のおつ
とめではなく、とても暑い日とし
た。おつとめを終え、いつものおばあ
ちゃんの隣に座って先生を待ちまし
た。そして、先生の最初の一言は「今
日は暑いですね。聴聞日和ですね」
だったのです。みなさんは、これを聞
いて何を感じるでしょうか？ 当時
の私の心境は「去年は雨で聴聞日和
と言っていた。僕はだまされないぞ。
なんていいかげんなのだ」です。この
「いいかげんな出来事」が「聴聞日
和」という言葉とセットとなり、私
の記憶に刻まれました。

そして時が過ぎ、もう一つの出来事
を通して「聴聞日和」に新たな意味
が与えられることになったのです。
それは私が大学院生の頃のこと
です。ある先生に学習会に誘われまし
たが、先約があり参加が叶いません
でした。先約のあることを伝える
と、先生は一言だけ「市野君、身は一
つですよ」とおっしゃったのです。こ
の一言が私にとって「身を置く」と
はどういうことなのかを考えるきつ
かけとなり、さらに「聴聞日和」に
少し違った見方があることを教えて
くれました。

当たり前のことですが、私たちは
一つの身を生きています。身が二つ
や三つあれば、学習会にも先約にも
参加できます。しかし私たちは一つ
しかない身を生きています。だ
から学習会や勉強会を優先しなけ
ればならない、ということではあり
ません。先生の言葉は、どこにいて
も、何をしていても、そこに一つしか
ない身を運んでいることの意味を考
えてほしい、という私の問いかけ
だったと思うのです。

そして、あの「聴聞日和」という
言葉も、雨や酷暑という天候の良し
悪しを言っているわけではなかった
のです。雨でも、酷暑でも、雪でも、
台風でも、もっと言えば、それぞれ
の状況や環境をかき分けて、この一
つしかない身が本堂(仏法聴聞の場)

3月8日 発売

色彩豊かな植物とたどる
お釈迦さまの生涯

植物図鑑

仏教ゆかりの
植物図鑑

松下俊英(文) 大島加奈子(絵)

B5変形判 80頁 定価:1,210円(税込)

蓮華や菩提樹をはじめ、
仏典に登場する様々な植物たち。
そんな植物の名前の由来や物語を、
お釈迦さまの生涯をたどりながら、
色彩豊かな絵とともに紹介する1冊。

ご注文お問い合わせは
東本願寺出版

TEL:075-371-9189

詳しい書籍情報は 東本願寺出版 検索

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/ @SHIBATAHOUITEN
(Webカタログ掲載・商品動画配信)

真宗大谷派 東本願寺御用達 京法衣事業協同組合加盟店

株式会社 柴田法衣店

OPEN CAMPUS 3/19日

大学説明会	大谷大学の説明と入試制度についてお伝えします。
ミニ講義	全学部・学科のミニ講義を開催。大学生の学びを体験できます。
個別相談	大学についての様々な質問に、先生・職員・学生がお答えします。
キャンパス見学ツアー	大人気の在学生による施設見学ツアーです!!

午前の部
10:00-13:00
(受付時間 9:30~)

午後の部
13:40-16:30
(受付時間 13:00~)

▼詳細はこちら

要事前申込
※午前午後とも
同じ内容です

お問い合わせ：入学センター
〒603-8143 京都市北区小山上総町
TEL: 075-411-8114(直通)
E-mail: nyushi-c@sec.otani.ac.jp

Be Real 寄りそう知性

大谷大学

宗教とは 信仰とは —カルト問題を通して考えよう—

第1回 「カルトとは？」

昨年7月、元首相が銃撃されました。「特定の宗教団体に恨みがあつた。元首相がその団体に近いので狙った」。40代の容疑者がこのような供述をしたことで、カルト問題、さらには宗教に関する報道が続いています。

カルト、そして宗教がクローズアップされる今、「宗教とは何か」「信仰とは何か」と、考える機会が増えているのではないのでしょうか。

本紙では、3回にわたってこの問いに向き合ってまいります。今回は、真宗大谷派のこれまでの取り組みを通して、カルトの特徴や傾向を学びます。

1

住職さん。「カルト」って
どういうものなの？

実は定義は決まっていらないんだ。
自分の信仰する宗教と違うからと
いって、特定の集団をカルトだと決め
ることはできないんだ。「カルト」は、
人間が一つの集団を作っていく時に
起こってくる問題なんだよ。

カルトの問題とは、表面上は宗教的行為にみえながら、
実は信者となった人が、教祖や教団に絶対服従させられ、
労力と時間、資産などを不当に奪い取られることにあり
ます。したがって、教団の活動が奇異に見えるかどうかと
いった問題ではなく、人権侵害や反社会性の問題といえ
ます。

勧誘され、次第に教祖や教団の道具に仕立て
上げられ、それから次第にまなものが奪われ、経済
的にも社会的にも追い詰められ、家庭生活が
崩壊し、死に至ることが起こっています。

2

じゃあカルトって「宗教」だけじゃなくて、
いろんな集団に関わる問題ってことなん
だね。つまり人間の問題ってことかな。で
も、定義がないなら、見分けることもで
きないのかな？

01 過度な集団アイデンティティ

教祖とされる人物にしたがって、教団に所属
すること以外に、生きていることの意味を見
いだせなくなる問題。

02 個人生活の剥奪

個人の生活や社会生活が奪われていく問題。

03 内外の批判封鎖

集団に対する批判を持たないようにして、外
からの批判も許さないようになる問題。

04 絶対服従

自分の考えや行動を、教祖や教団にすべて任
せきってしまう問題。

ふーん。「僕は大丈夫、関
係ない」と思ってしまうけど、
違うのかなあ。ほかに気をつ
けることある？

1.強いカリスマ支配 2.終末論(亡国論) 3.罰論(応報論)

「強いカリスマ支配」は、教祖の命
令・意志を絶対的なものとして、人々
を支配することだよ。教祖に従うこと
が良いことで、背くことに恐怖を感じ
るようになってしまうんだ。

「終末論(亡国論)」は、間違いのない予言
として「世界が終わる」とか、「国が減び
る」と言って、恐怖心を煽りたてることだ
よ。現代の出来事を「世界や国が減びる
前触れだ」ということもあるんだ。

「罰論(応報論)」は、「教義を信
じないと地獄に墜ちる」「先祖・
前世からの因縁で罰がある」など
と言って、恐怖心を与えることな
んだ。

次回

カルト性の強いあり方について、真宗の
教えではどう語られてきたのでしょうか。
次号では親鸞聖人や蓮如上人の言
葉を通して学びます。

※本ページの内容は、「カルト問題学習の手引き」
(青少年センター発行)をもとに作成してあり
ます。

カルトに関する
各種リーフレットの
ダウンロードはこちらから



4

そうかあ。集団と関わ
るときは、気をつけな
いといけないね。春は
出会いも多いから。

そうだね。外部との関係だけではなく、家
族・友人の間であっても、思想を押しつけたり
人間関係を制限しすぎたりするような人権侵
害があってはいけないんだ。でも、宗教は人
間が生きていく上で本当に大切なことを教えるも
のだから、信仰が家庭で伝わっていくことが悪
いわけではないよ。それが日常生活を極端に
制限することになっていないか、周りの人も
含めて、一緒に考えることが大事だと思うな。

親が子どもに教えるを
伝えているのがダメなん
じゃなくて、人権を侵害す
ようなことが問題なんだね。

特別企画

3月1日(水)~4月30日(日)

東本願寺出版 慶讃法要オンラインブックフェア

①〈慶讃法要〉特別価格キャンペーン

「慶讃法要」を縁とし、仏法に触れていただくため、親鸞聖人に関する書籍等を特別価格
(定価の半額)で販売します!

※特別価格キャンペーンは「TOMOぶっく」からのご注文に限りです。

②2,000円以上のご購入で配送料無料キャンペーン

期間中に東本願寺出版発行の出版物を合計2,000円(税込)以上お買い上げ
いただいた方には、配送料無料で送ります!

※TEL・FAX・メール・「TOMOぶっく」でのご注文に限りです。

東本願寺出版

検索



東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174

京都市下京区烏丸通花屋町下ル

電話 (075)351-6325

フリーFAX 0120-89-5255

定休日: 日曜日

皆様の平安

平安は三つの信念で精進しています

- ① 優良な商品を吟味し御調製
 - ② 価格も出来る限り勉強
 - ③ 親切と誠意あるサービス
- 法衣、打敷、幕、会旗、念珠、
稚児貸衣裳
御本山用達

平安法衣店

京都市下京区東本願寺大門前(〒600-8153)
電話 京都(075)351-3681(代)
FAX (075)351-5563

「阪神・淡路大震災追弔法要・教区重点課題学習会」開催 ―震災から28年、共に考える―

1月17日、神戸市教育会館にて「阪神・淡路大震災追弔法要・教区重点課題学習会」が開催された。これまで地震発生時刻の午前5時46分より行われてきた法要は、今回から形を新たに山陽教区の社会問題部門と仏教青年会の共催で学習会と共に行われた。新型コロナウイルス感染症対策をし、30人余りが参加、ライブ配信も行われた。



勤行の様子

開会の挨拶で北風智史仏青委員長は「これからも法要の形は変わっていくと思うが、願い、思いをむねにして一人ひとりが自主的にこの法要を勤めていきたい」と述べた。勤行の後、学習会へと移り、災害支援や防災活動を行っている栗田暢之氏(NPO法人レスキューストックヤード代表理事・岐阜高山教区仁成寺住職)による講義が行われた。

栗田氏は、東本願寺発行の『ご門徒さんと考える(寺院)のための災害対策ハンドブック』をもとに、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの災害の映像や被災された方の手紙を紹介、災害時に避難所として活動した寺院の様子を伝えながら、「お寺だからこそできることがある」と述べた。また、日頃から災害に備えて話し合うことやハザードマップを確認することが、被災された方たちの悲しみや、語り部の方たちが伝えてくださっていることへの理解につながると呼びかけた。そして、「災害は決して他人事ではなく、今後も「自分に何かできることがあるのではないか」を共に考え続けたい。同時に、一人ひとりのいのちが大切だと皆さんと一緒に実感できる場を作り、経験していきたい」と語った。

震災から28年目の今、災害とどう向き合い、何ができるのかをあらためて共に考え、確かめる時となった。

(山陽教区通信員 青山祐一)

逝去のお知らせ 蔵本久雄／参議会議員、金沢教区第9河北組速圓寺門徒。
2023年1月31日逝去。81歳。2018年から2期にわたり参議会議員を務められた。



**大谷スカウト連合協議会
結成65周年記念「公開講演会」を
開催します**

大谷スカウトの方々と共にぜひご聴講ください。

日 時 4月29日(土)19:00～20:30 **会 場** しんらん交流館2階 大谷ホール

講 師 蔵本久雄(政治学者) **講 題** リーダーは「半歩」前を行けばよい

参加費 1,000円(当日会場にてお納めください)

申込方法 ①氏名②住所③電話番号④聴講希望人数(代表者含め5人まで)を記入してFAXもしくはメールにてお申込みください。

定 員 100人(先着順)

申込期間 3月1日(水)～4月20日(木)※定員に達し次第締め切ります

問合せ先 〒600-8164 京都市下京区上柳町199しんらん交流館
青少幼年センター内 大谷スカウト連合協議会

電 話 075-354-3440 **FAX** 075-371-6171

メール oyc@higashihonganji.or.jp

読者のお便利

私は、10年余りお手次寺での勉強会に通っています。准坊主さんが「正信偈」のお勤めの練習や内容についてのお話をしてくださり、そのおかげで家のお内仏の前でも「正信偈」をお勤めできるようになりました。今は「歎異抄」の内容を覚えてくださっています。とても難しいですが、1時間余りでの勉強会が終了すると、坊主さんが季節に合わせたおいしいお茶会のご用意をして、私たちに振舞ってくださいます。日ごろ感じたことや安否確認など、さまざまな事柄を話し、楽しい時を過ごします。近年は新型コロナウイルスの影響はありますが、工夫しながら続けてくださっています。勉強会に通うことがとても楽しみで、このような場を作ってくださいましたお手次寺のみなさんに感謝の気持ちでいっぱい입니다。

お便り募集 「同朋新聞」の感想をはじめ、日々の思いなどを寄せてください。

宛先 Eメール shuppan@higashihonganji.or.jp
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 東本願寺出版同朋新聞編集係
住所氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。
紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただきます。

**2023年
(第350回) 蓮如上人御影道中・
吉崎別院御忌法要のご案内**

蓮如上人の北陸教化と真宗再興のご遺徳を偲び、吉崎別院では毎年「御忌法要」が勤まります。「御影道中」は、御忌法要をお迎えるための大切な御仏事で、江戸時代から続けられています。

蓮如上人御影道中

期間 御下向 4月17日(月)～23日(日)
御上洛 5月2日(火)～9日(火)

御影道中は、蓮如上人が歩んだ東本願寺と福井県の吉崎別院を結ぶ往路(御下向)約240[㌾]、復路(御上洛)約280[㌾]の道程を、上人の御影と共に歩む御仏事です。

本年は4年ぶりに御影道中への自主参加(一般参加)を募集します。全行程だけでなく一部での参加も可能です。詳しくは吉崎別院のHPをご覧ください。

問い合わせ 吉崎別院
☎0776-7511904

真宗大谷派吉崎別院 

吉崎別院御忌法要

期間 4月23日(日)～5月2日(火)

※詳細は吉崎別院HPをご覧ください。



お詫び

**『真宗大谷派勤行集(和綴・小判)』
[第5版第4刷]の乱丁について**

このたび、『真宗大谷派勤行集(和綴・小判)』[第5版第4刷]に、印字のずれが生じていることが判明いたしました。

つきましては、これまで当該勤行集をお買い求めいただいた方には、正しく印字されている勤行集をお送りいたしますので、お手数をおかけいたしますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。なお、現在再調製を行っておりますので、完成次第お送りいたします。

大変ご迷惑をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

[印字のずれが生じているページ]
4・5ページ、12・13ページ、20・21ページ、28・29ページ

問い合わせ先 東本願寺出版
TEL:075-371-9189(平日9:00～17:00) FAX:075-371-9211
メール:books@higashihonganji.or.jp

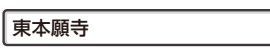
ご案内

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休館日・開館時間及び掲載内容について、中止・延期もしくは日程等を変更する場合がありますのでご了承ください。

真宗本廟(東本願寺境内) 京都市下京区烏丸通七条上

- ◇**晨朝(おあさじ)**【場所】阿弥陀堂及び御影堂 【時間】毎日7時～
- ◇**晨朝法話** 【場所】御影堂 【時間】毎日7時30分頃～
- ◇**真宗本廟法話** 【場所】参拝接待所仏間
【時間】通常10時10分～/13時10分～
逮夜日(12・27日)13時10分～ 御命日(28日)9時30分～
※その他、時間・会場を変更する場合があります。
- ◇**参拝接待所ギャラリー** 【時間】9時～16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中
「蓮如上人御影道中」展 開催中～3月21日
慶讃テーマ館 3月25日～4月29日 ※詳しくは6・7面をご覧ください

※慶讃法要期間(3月25日～4月8日、4月15日～29日)の開館時間は8時30分～16時30分

詳しくは、真宗大谷派ホームページまで  

しんらん交流館 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひ真宗教化センター しんらん交流館にお立ち寄りください。
※慶讃法要が勤まるにあたり、一部開館日・行事を変更しておりますのでご注意ください。
開館時間/3月24日まで: 平日 9時～18時 土日祝 9時～17時
3月25日～4月29日: 9時～17時
休館日/毎週火曜日、4月30日～5月7日(※臨時開館日 3月28日、4月4日・11日・18日・25日)

- ◇**3月の定例法話** 【場所】1階 すみれの間 【時間】毎日14時～
※毎週火曜日・3月12日・19日・25日～5月7日は休会、その他都合により休会する場合があります。
- ◇**東本願寺日曜講演** 3月5日～5月7日まで休会
- ◇**交流ギャラリー**(1階) 6月中旬まで休止
- ◇**しんらん交流館 Tera School** 【場所】1階 すみれの間
【日時】3月6日(以降5月8日までお休み) 18時30分～20時30分
【対象】小学3年生～高校3年生
※幼児教室もあります。 <http://www.teraschool.jp>

東本願寺いのちとこころの相談室 【TEL】075-371-9280
【開室時間】毎週木曜日
13時～17時(祝日または休館日、その他行事日は閉室)

全国のお寺での取り組みや読みもののページなど、さまざまな情報を発信しています。 